

2017年度

# 初めて学ぶ『歎異抄』講座 at 西本願寺



第1回 11月4日(土) 午前  
『歎異抄』のあらまし・序  
講師 八橋大輔

**講師より** 親鸞聖人の魅力がたくさんつまった『歎異抄』。それは、いつ、誰が、何のために著わしたもののなのでしょう。これから『歎異抄』の各条を学んでいくにあたり、まずはその全体像を押さえましょう。

第2回 11月25日(土) 午前  
第一条 浄土真宗のエッセンス  
講師 東光直也

**講師より** 親鸞聖人が求められたもの——「生死いづべき道」。そのすべてを唯円は第一条に刻みました。私の講義では、浄土真宗の骨子ともいえるべき阿弥陀仏の願いと救いの構造を学びます。

第3回 12月16日(土) 午後  
第二条 地獄は一定すみか  
講師 長尾隆司

**講師より** 第二条は、関東の門弟たちに生じた念仏の教えに対する疑念への、親鸞聖人の領解が語られています。第二条の背景にある出来事に触れつつ、「往生極楽のみち」とはいかなるものであるのか学んでまいりましょう。

第4回 2月10日(土) 午前  
第三条 悪人正機  
講師 西河雅人

**講師より** 「善人なほもつて往生をとぐ。いはんや悪人をや。」——『歎異抄』の代名詞ともいえる「悪人正機」のご法語です。世間の常識とは反対をいくこのお言葉はどう理解したらよいのでしょうか。浄土真宗における「善人」「悪人」、「自力」「他力」について理解を深めましょう。

第5回 3月10日(土) 午前  
第四条 浄土の慈悲  
講師 野村淳爾

**講師より** 「慈悲」。聞き馴染みのある言葉ですが、親鸞聖人はその慈悲に「聖道の慈悲」と「浄土の慈悲」の区別があるといわれます。第5回では浄土教の歴史をひもときつつ、二つの慈悲の違いを学び、阿弥陀仏の大慈悲心を味わいます。

お申込み 郵送、FAX 075-371-5761 またはWeb

(フリガナ)

お名前

ご住所

電話番号

FAX番号

E-Mail

希望の回にすべて  
○印をつけてください

● 第1回 11月4日(土)

● 第2回 11月25日(土)

● 第3回 12月16日(土)

● 第4回 2月10日(土)

● 第5回 3月10日(土)

浄土真宗本願寺派総合研究所

<http://j-soken.jp/>